シャクナゲ園
Rhododendron Garden

高嶺の花には毒がある

花が華やかで美しく、原種は高山植物で入手困難だったことから
「高嶺の花」の語源となっているシャクナゲ。
ツツジによく似た花が数輪集まって咲く姿は豪華絢爛で人気があり、
5000を超える園芸品種がつくられています。

「花木の帝王」との呼び名があるシャクナゲですが、
「警戒」「危険」といった少々怖い花言葉もあります。
花言葉の由来は、シャクナゲに毒性があることからきています。
ツツジ類には有毒なものが多く、園芸品種のシャクナゲにも毒があります。

毒は植物が生きていくための武器のひとつです。
身近にある植物の中にも毒性のあるものが
あることを覚えておいてください。

葉やつぼみ、蜜に毒

シャクナゲの毒はグラヤノトキシン

神経に作用

嘔吐、下痢、血圧低下、
めまい、けいれん

植物の毒の役割

- 植物を食べる動物や病原菌から身を護る
- 競争相手の植物から身を護る など

シャクナゲ園について
長居植物園 HP